

市町村合併

25

まちづくり委員会 第二ステージ

西伯町、会見町の町民有志からなる「まちづくり委員会」が、第二段階へのステップを踏み出しました。

まちづくり委員会

まちづくり委員会は、両町から五十人ずつ計百人の皆さんで構成され、新町の将来の姿、まちづくりの考え方を盛り込んだ新町建設計画（通称まちづくり計画）を策定する会として発足しました。

昨年五月の第一回まちづくり委員会の会議から協議を重ね「まちづくり計画（案）」を策定され、十二月二十五日開催の第十八回西伯町・会見町合併協議会で決定されました。

まちづくり委員会第一ステージ

まちづくり委員会は、まちづくり計



▲ 第二回会議の様子

画を策定するという役目を終え、このたび新町のまちづくりへの住民参画のあり方などについて、合併協議会に対し提言をいただくことを目的とした第二ステージへと進みました。第二ステージは、まちづくり委員の有志に新たに追加募集した委員を加えた両町の町民三十九人で構成されています。

この第二ステージは、毎月一回程度開催され、いただいた提言は南部町のまちづくりの土台として活かされます。

「南部町まちづくり計画」はホームページでもご覧いただけます。
西伯町・会見町合併協議会ホームページ
<http://www.saihaku.net/aimi/>

これからの会見町

～ 会見学級で三鴨町長が講演 ～

四月二十二日（水）第二回会見学級が会見町公民館で行われました。会見学級は、主に六十歳以上の男女を対象とした学びの場で、共に学ぶことを分ち合い、学びの仲間の輪を広げることが目標とし、毎月二回行われています。今回は「これからの会見町」と題して三鴨英輔町長の講演が行われました。

集まった学級生を前に三鴨町長は「人生の先輩、恩師を前にして話をするのは、何だかテストを受けているみたい」と最初は少し緊張気味の様子でした。

この日の講演では、合併協議会で決まった主な点や、今年度の会見町の予算などについて説明。三鴨町長は、自身の助役・町長としての経験から、「人づくりが一番の基本。合併しても残していきたい」と話しました。



▲先輩方を前に緊張気味の三鴨町長